

Campus 大学 Topics キャンパストピックス

学長表彰、学生部長表彰、神谷奨励賞の表彰式、授賞式を挙行

学長表彰

顕著な課外活動	チアリーディング部	第17回中部チアリーディング選手権大会大学部門第1位(3連覇達成) チアリーディング日本選手権大会(Japan Cup 2012)全国大学部門 第8位 第24回全日本学生チアリーディング選手権大会競技部門 第7位
---------	-----------	--

学生部長表彰

中部、関西、東海地区上位入賞同等以上	心理学部心理学科	2年 藤田智也さん	<なぎなた部>	第12回全日本男子なぎなた選手権大会 第4位
	健康医療科学部スポーツ・健康医科学科	3年 斎藤優衣さん	<スキー部>	第57回中部日本学生スキー選手権大会大回転種目 第2位 回転種目 第3位
	文学部教育学科	3年 木下奈々さん	<スキー部>	第57回中部日本学生スキー選手権大会大回転種目 第9位 回転種目 第7位
	ビジネス学部ビジネス学科	1年 有吉佑有さん	<バドミントン部>	第61回中部学生バドミントン選手権大会女子シングルの部 第4位 第63回全日本学生バドミントン選手権大会女子シングルの部出場
	健康医療科学部スポーツ・健康医科学科	2年 池田優理さん	<バドミントン部>	第60回東海学生バドミントン選手権大会女子ダブルスの部 第8位
	健康医療科学部スポーツ・健康医科学科	2年 喜田純奈さん	<バドミントン部>	第60回東海学生バドミントン選手権大会女子ダブルスの部 第8位
	交流文化学部交流文化学科	3年 安齋拓斗さん	<バドミントン部>	第60回東海学生バドミントン選手権大会男子ダブルスの部 第8位
	現代社会学部現代社会学科	4年 松田宏和さん	<バドミントン部>	第60回東海学生バドミントン選手権大会男子ダブルスの部 第8位
	健康医療科学部スポーツ・健康医科学科	3年 伊藤太亮さん	<バドミントン部>	第60回東海学生バドミントン選手権大会男子ダブルスの部 第8位
	健康医療科学部スポーツ・健康医科学科	3年 葛城竜二さん	<バドミントン部>	第60回東海学生バドミントン選手権大会男子ダブルスの部 第8位
その他	健康医療科学部スポーツ・健康医科学科	2年 小川真純さん	<女子ハンドボール部>	平成24年度東海学生ハンドボール秋季リーグ戦女子2部 最優秀選手 2部リーグ優勝と1部リーグ具格に貢献した。
	ビジネス学部ビジネス学科	3年 廣中実夢さん	財団法人名古屋都市産業振興公社名古屋市新事業支援センター主催 学生ビジネスアイデアコンテスト 特別賞	
	ビジネス学部ビジネス学科	3年 川瀬敦司さん	財団法人名古屋都市産業振興公社名古屋市新事業支援センター主催 学生ビジネスアイデアコンテスト 佳作	
中部、関西、東海地区上位入賞同等以上	なぎなた部			第51回全日本学生なぎなた選手権大会公開競技男子団体の部 準優勝
	バドミントン部			第116回東海大学バドミントン選手権大会(秋季リーグ)女子1部2位・男子1部4位
その他	女子ハンドボール部			平成24年度東海学生ハンドボール秋季リーグ戦女子2部 優勝 1部昇格を果たした。
	剣道部			第21回東海女子学生剣道新人優勝大会女子団体戦 3位
	よさこい探究会「鳴鶴」			第15回安濃津よさこい 奨励賞
	ビジネス学部ビジネス学科 上原ゼミ3年 細田あやみさん・岩切美香さん・浅井怜哉さん・古田敦司さん・森島里帆さん			日刊工業新聞社主催「第10回キャンパスベンチャーグランプリ中部ブロック大会」 名古屋産業人クラブ会長賞
ビジネス学部ビジネス学科 上原ゼミ3年 田中小百合さん・本橋葉冬美さん・高木雅人さん・堀文哉さん・山田恵美さん			日刊工業新聞社主催「第10回キャンパスベンチャーグランプリ中部ブロック大会」 奨励賞	

神谷奨励賞

文学部	<国文学科>朝倉恭子さん <英文学科>杉原有美さん <教育学科>菊地純奈さん
人間情報学部	<人間情報学科>近藤里咲さん 安井唯さん
心理学部	<心理学科>神谷朋佳さん、早崎しほさん
メディアプロデュース学部	<クリエイティブライティングコース>林すみれ子さん <メディア表現コース>片桐彩さん <都市環境デザインコース>阪出優花さん
健康医療科学部	<医療貢献学科言語聴覚学専攻>鈴木里奈さん <医療貢献学科視覚学専攻>谷口めぐみさん <スポーツ・健康医科学科>小嵩花奈さん
福祉貢献学部	<福祉貢献学科社会福祉専攻>後藤恵理香さん <福祉貢献学科子ども福祉専攻>阿知波里紗さん
交流文化学部	<交流文化学科>坂本史華さん、板倉あいさん
ビジネス学部	<ビジネス学科>冨田美里さん、堀田あゆみさん

※学年は平成24年度のものです



3月12日長久手キャンパスにおいて、平成24年度の学長表彰、学生部長表彰、神谷奨励賞の表彰式、授賞式が行われました。
学長表彰は、毎年優れた学業成績、研究成果、課外活動等において顕著な成績を修めた個人や団体を対象とするもので、今年度は1団体が表彰されました。
学生部長表彰は、中部、関西、東海地区大会等で上位入賞の成績をおさ

めた者、社会奉仕活動等で顕著な活動を行ったものを対象とし、今年度は個人15人と7団体が表彰されました。
神谷奨励賞は、各学科専攻に在籍する3年生を対象として、優れた学習研究の成果をあげ、学部長の推薦を受けた学生に贈られる賞で、19人の学生が受賞しました。
それぞれの分野で精一杯の努力が認められた受賞者の皆さんのますますの活躍を期待しています。



学生部長表彰



神谷奨励賞



学長表彰

Campus

大学

Topics

キャンパストピックス

チアリーディング部 チアリーディング日本選手権大会 (Japan Cup 2012) 全国大学部門 第8位



創部初の200点超えの演技

活躍を期待しています。

チアリーディング部RANGERSが平成24年度素晴らしい活躍を見せてくれました。

第17回中部チアリーディング選手権大会大学部門で第1位となり、3連覇を達成。続いてチアリーディング日本選手権大会(Japan Cup 2012)全国大学部門第8位、第24回全日本学生チアリーディング選手権大会競技部門第7位という快挙を成し遂げました。

強豪校を破り、全国大会において輝かしい成績をあげたことはもとより、チアリーダーとしての姿勢も学内だけでなく全国的に高く評価されています。

チアリーディング部代表の天野希恵さんは、「サポートしてくださる全ての方への感謝を忘れず、今後も数多くの大会へ向け、チーム一丸となり頑張っていきます」と決意を語ってくれました。



キャプテンの天野さん

愛知淑徳大学都市環境デザインコース2013卒業研究展[学外展]



卒業生の益々の飛躍を祈念するとともに、メディアアプロデュース学部二期生として在校生には先輩を越える成果を期待しています。

この春卒業した学生たちは、現代社会学部を締めくくる最後の学年で、2010年度にスタートしたメディアアプロデュース学部の開設科目も併せて受講できるといふより充実した学習プログラムでした。その中でもやはり卒業研究は醍醐味と言えるものだったに違いありません。一年間の時間をかけて日々積み上げてきた研究成果を発表したのは総勢47人の学生たちです。このうち学内選抜を経た設計・制作作品18点と論文2編を学外一般の皆様へお披露目しました。名古屋市民ギャラリー栄にて行われた通称「学外展」は、2月12日から16日の期間開催しました。来場者の方には、建築模型を近くで覗き込んでいただいたり、プレゼンテーションパネルに目を通していただいたり、椅子や玩具、絵本などに触れていただき、ご批評もいただきました。また、来場者アンケートによる好きな作品ナンバーワンには、山本さんと富田さんの「甦る広小路」が選ばれました。江戸期の名古屋広小路の復元模型でその緻密な表現に注目が集まりました。

AHSMEC (アースメック) 棟の竣工式を実施



去る3月15日、長久手キャンパスにてAHSMEC(アースメック)棟の竣工式が挙行了されました。

AHSMEC(アースメック)棟3階会議室に設営された祭場には、小林素文理事長や島田修三学長をはじめとする学園関係者15人、設計監理を担った株式会社日建設計と施工を行った清水建設株式会社の方々12人が参集し、厳粛な雰囲気の中、すべての祭儀が滞りなく執り行われました。

そして宮司様からの「このたびは、竣工の佳き日を無事に迎えることができました。これから先、学園がますます発展し、ここに学びし多くの学生たちが健康で心豊かに育つことを祈念します」というご発声のもと、参列者一同が神酒を拝戴しました。

最後に小林素文理事長より日建設計、清水建設に対する御礼の挨拶があり、竣工式をめでたく納めました。

愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター AHSMEC (アースメック) 開設記念講演会



今後、AHSMEC(アースメック)では、健康づくりや病気の予防などに関する情報発信にも力を注ぎながら、医療や教育の質をより高め、その成果を地域に広く還元できるように教職員・専門スタッフが一丸となつてさまざまな取り組みを進めてまいります。

春らしい穏やかな日となった4月20日、長久手キャンパス5号棟の大教室にて愛知淑徳大学 健康・医療・教育センター AHSMEC(アースメック)の開設記念講演会を開催しました。

記念式典では長久手市長・吉田一平様、愛知医科大学理事長・三宅養三様、AHSMEC(アースメック)に寄せる期待のお言葉を交えてご祝辞をくださいました。そして開会の挨拶において、小林素文理事長、島田修三学長ともに力強く語っていただいた「地域貢献」への思いです。「地域の皆さまのために」というゆるぎない信念のもと、この開設記念講演会も企画・実施しました。講演者として登壇した5人の先生方が、めまい、うつ、緑内障、心理臨床、高齢期の健康といったそれぞれの専門分野に関するトピックスをわかりやすく語り、ご参加くださった地域の皆さまは熱心に耳を傾けていました。

Campus

大 学

Topics

キャンパストピックス

愛知淑徳短期大学OG合唱団「コール・桜」さよならコンサート



愛知淑徳短期大学が創立40周年目を迎えた2001年、その年に短大が閉学となることが決まり、それを機にOG合唱団「コール・桜」が結成されました。これまでに多くの仲間が、歌う楽しさ、共に語りあえる同窓生とのつながりを感じながら活動を続けてきました。12年目の今年、諸般の都合で幕を下ろすことになり、例年より早めの桜が咲いた3月23日、名古屋・栄の電気文化会館にて「さよならコンサート」が開催されました。4ステージのプログラムを構成し、参加したメンバーは54人。組曲「心の四季」や、被災地復興への願いと愛知淑徳への思いを込めた「ふるさと」などを歌い上げました。ほぼ満席の客席からは盛大な拍手や声援が送られ、会場はあたたかな感動に包まれました。同窓会や小林素文学園長からお祝いの桜の花籠も届けていただき、「コール・桜」はたくさんの満開の笑顔を送りました。

満開の桜のもと、愛知淑徳高等学校での日々をスタートさせました。



願っています。高校生活を送れることを、充実した高校生活を送れることを、願っています。

Campus Topics

中学校・高等学校

淑徳晴れとなった4月5日、満開の桜に歓迎されながら、愛知淑徳高等学校の入学式に新入生281人が臨みました。全員で校歌を斉唱したあと、校長は式辞の中で多様に变化していく社会の中で生きていくために、高校時代に「学びの習慣」を身につけ、自ら「答えを見つけていく力」を養うこと、また長期的な展望に立つて考え、時には「我慢できる」ことも大事であると話されました。理事長からは高校3年間がより充実したものになるようにとの励ましの言葉があり、新入生たちは全員、心に刻み込むように真剣な表情で聞き入っていました。高校3年間は中学校3年間以上に心身ともに大きく成長できる時期でもありません。学習面とともに、行事やクラブ活動にもより積極的に取り組む、充実した高校生活を送れることを願っています。

愛知淑徳中学校で卒業式が執り行われ、卒業生たちが新たな一歩を踏み出しました。



3月19日、愛知淑徳中学校第66回卒業式が行われ、1、2年生や保護者の方々、教職員が見守る中、卒業生が門出の時を迎えました。会場に響き渡った校歌は、一人ひとりの思いの強さを示すかのように力強く聞こえ、歌う姿はいつもより一回り大きく見えました。卒業のことは「では各クラス代表の7人が、学園祭の思い出、友達や両親への感謝、後輩への思いを、それぞれの言葉で語りました。そして在校生が歌った「明日へつなぐもの」に答えるように、卒業生は「信じる」を歌い、かけがえのない仲間との大切な時間をかみ締めました。中学校の卒業式は、義務教育を終了して自立した高校生活へと舵を切る大切な記念日です。この日の決意を心に留め、高校生活をすばらしいものにしていくことを、心から祈ります。

南京一中教員が本校に滞在

滞在中に行事が設定されている年には積極的に参加していただき、今冬はマロン大会にも参加され、生徒とともに約4kmのコースを完走されました。また、中学校と高校の職員室に席を設け、多くの教員と交流することもお出来ました。なお、毎回、愛知淑徳大学交流文化学部の学生が通訳など、滞在中のお世話係として活躍してくれています。

南京第一中学校と本校は2001年に姉妹校提携をして以来、様々な形で交流を続けてきましたが、一昨年度からは教員派遣交流を行うようになりました。南京一中からは1月下旬〜2月初旬の春節(旧正月)の休暇を利用して2名の先生方が滞在されています。1回目は2001年1月23日〜2月12日に朱剛先生(中国語)と姚国梁先生(数学)が、2回目は20012年1月17日〜2月5日に樊世文先生(歴史)と高凱先生(生物)が、そして今年は2月5日〜2月15日に吳中英先生(化学)と林志剛(美術)先生が本校を訪れました。それぞれの専門教科を中心に本校の授業を参観したり、実際に生徒を相手に授業を行っていたりしています。中国と日本では教科の内容が異なるところもありますが、共通部分も多く、お互いに参考になることも多くあります。滞在中に行事が設定されている年には積極的に参加していただき、今冬はマロン大会にも参加され、生徒とともに約4kmのコースを完走されました。また、中学校と高校の職員室に席を設け、多くの教員と交流することもお出来ました。なお、毎回、愛知淑徳大学交流文化学部の学生が通訳など、滞在中のお世話係として活躍してくれています。

